

皆さんは「メシア」という言葉を聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか？ 恐らく、多くの人は、白いマントを羽織った、巨大なイエス・キリスト的な存在が天から舞い降りて来るようなイメージを持つのではないかと思います。でも、その「メシア」が、具体的にどのような手法で、世界を救済するのか、思い付くことの出来る人はいないのではないのでしょうか？

もし、それを思い付くことの出来る人がいれば、その人が「メシア」になっています。逆に言うと、人類の歴史上、一人もそのミッションを実現した「指導者」は現れなかった。つまり、旧来のリーダーシップに依存したトップダウンの手法では、世界を変える（Change the world）することは出来ないということです。天から降臨した「メシア」が、どれほど強いリーダーシップを発揮し、素晴らしい「教え」を説いても、トップダウンでは、どうあがいても、世界全体を救うことは出来ない。例え、リアルにイエスが再臨したとしても。

日本の八百万の神々が、今、人間に伝えようとしているのは、この逆。「ボトムアップ」での草の根的な社会変革の手法です。

例えば、こう考えてみて下さい。

あなたが、劣悪な環境に置かれ、教師も腐りきった最低最悪の学校に通っていたとします。どんなに立派な校長先生が赴任して来ても、どんなに優秀な生徒会長が力を尽くしてみても、トップダウンでは、決して学校全体を変えることは出来なかった。

そこで、日本の神様が、あなたにチャネリングし「ここをこうして、あそこをああして、こうして、ああして、そうすれば、素晴らしい学校になるよ」と、教えたとします。あなたは、神様に教えられた手順を、すべてマニュアル化して、ファイルに綴じた。

もし、そのファイルを、生徒も先生も、用務員のおじさんも、給食のおばさんも、全員ひっくるめて、学校全体の人間が読めば、必ず、志のある人たちが「そうか！ こうすれば良いのか」と、気付き、学校を変革しようと立ち上がり始める。やがて、賛同する人たちが現れ、仲間が増え、みんなが一致団結して「新しい学校作り」に向けて、歩み始める。

ここでポイントになるのは「マニュアルを共有し、同じヴィジョンに向かって進む」ということです。

\* \* \* \* \*

「追記（補足解説）」で、「世界の解体と再構築」と書いています。「解体」と言うのは、校舎を破壊するという意味でも、先生を追い出すという意味でもない。いったん、教科書も校則も、全部捨ててしまい、登下校の時間まで含めて、完全に「まっさら」な状態から、学校というシステムを立ち上げ（組み立て）直す、という意味です。言い方を変えると、学校というシステムのOSを、一度、アンインストールしてから、まったく新しいOSを、インストールし直す、ということなのです。

コア・ユニットである『ハートメイカー』を読まないで、具体的にはイメージ出来ないと思いますが、もし「ユニバーサル・マシン」が、世界規模で起爆/拡散したら、たぶん、大地震と核爆

発が同時に起きたような騒ぎになると思います。現代先進国の前提的常識となっている価値観、世界観が完全に破壊されるわけですから。結婚制度から資本主義経済に至るまで。エンタテイメントから議会制民主主義に至るまで。何もかもが。

でも、本気で「Save the world!」するためには、学校全体のシステムを完全に解体/再構築する他に道はないのです。ウィルスの蔓延した PC を救済するためには、OS を丸ごと取り替えてしまうしか方法はありません。

\* \* \* \* \*

「ユニバーサル・マシン」は、まだ、ブレイク前の「ピコ太郎」のようなものです。もし、あなたに（ガチで）大地震と核爆発を同時に起こす覚悟があれば、ぜひ、ジャスティン・ビーバーになって下さい。

[了]

新和暦 0 年(西暦 2017 年)5 月 22 日 記